

わくわくボランティア

第60号

発行/海津市社会福祉協議会内市民活動ボランティアセンター
TEL. 0584-55-2300 FAX. 0584-55-1990

ボランティア登録状況 (2月12日現在)

団体数 79団体(2,407人) 個人 52人 合計 2,459人

『聴くこと』が相手の力を引き出す

傾聴ボランティア研修会

▶ 認知症について理解を深めました。



◀ 傾聴の心構えについて学びました。



昨年の夏に傾聴ボランティア養成講座を受講された皆さんを対象に実践活動に向けた研修会を2日間にわたり開催しました。

1日目の研修会は桑名市の傾聴ボランティア団体『みみずく』(代表:水谷恭子氏)から日頃の傾聴ボランティア活動についてのお話を聴き、2日目の研修会では、海津市高齢福祉課・同市地域包括支援センターの職員を講師に招き認知症の方との関わりについて学び、今後の傾聴活動に向けて知識を向上することができました。

参加者の皆さんは今後、サンリバー松風苑やデイサービスセンター南濃などで傾聴ボランティア活動を行う予定です。

わたしのまちのボランティアさん

【団体名】 ひまわりグループ海津

【会員数】 15名

【発足年月】 昭和55年4月

【主な活動】

サンリバー松風苑で毎年行われている餅つき大会に参加しています。私たちメンバーが、ひとつひとつ心を込めて作るお餅に利用者の皆さんは大変喜んでみえます。

今年で23回目の参加ですが、今後も利用者の皆さんとともに楽しむことができる活動を続けていきたいと思えます。



▲ 手作りのお餅を振舞う、ひまわりグループの皆さん

※この記事はボランティアさんより寄稿していただきました。

小さなキャップも分ければ資源

平田地区の西島自治会では自治会内で収集したペットボトルのキャップ約1万個を、処理加工を行う海津化学ゴム（同自治会）に届けました。

自治会では、昨年4月に班長会でペットボトルのキャップは捨てればゴミ、分ければ資源になることを話し合い、翌月から毎月1回収集活動を行ってきました。今回集めた約1万個のキャップは「エコキャップ推進協会」を通じて、ポリオワクチンとなり途上国に届けられます。

今後も皆さんの協力を得て活動を続けていきたいと思ひます。

※この記事は、西島自治会より寄稿していただきました。



▲収集したペットボトルのキャップを手渡す、西島自治会長の菱田さん

市内の福祉教育を冊子にまとめよう



▲発刊に向け意見交換しました。

福祉教育のあゆみ「ふれあい」の発刊に向け、各学校の福祉教育担当の先生に出席いただき編集委員会が開催されました。

「ふれあい」は各学校の福祉教育の活動や取り組みを紹介していくもので、今年で第5号の発刊となります。この「ふれあい」は平成22年度の海津市社会福祉大会で配付の予定をしています。

ボランティア活動 保険加入のご案内

22年度加入受付中!

ボランティア活動中に「ケガをしてしまった！（させてしまった!）」という時のためにボランティア活動保険の加入をお勧めします。掛金や補償内容は下記のとおりで、海津市社協では一人あたり200円の助成をしています。詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。

補償金額・掛金

保険金の種類	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,418万円	2,000万円
後遺障害保険金	1,418万円(限度額)	2,000万円(限度額)
入院時保険金日額	7,000円	11,000円
通院保険金日額	4,500円	7,000円
賠償責任保険金	5億円(限度額)	5億円(限度額)
年間保険料(自己負担)	280円(80円)	420円(220円)

保険金が支払われる主な例

(1) 傷害事故

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをした場合に保険金が支払われます。



(2) 賠償事故

ボランティアがボランティア活動中の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金が支払われます。

心

すませば... ゆう&あいマップづくり隊は昨年の公共施設編に続き、今年は医療・金融機関編のバリアフリーマップを作成しました。このマップは、障がい者のみならず、市民の皆様にも幅広く活用していただけるようにとメンバーの思いが込められています。詳しい内容については来月発行のボランティア情報誌で紹介しますのでお楽しみに！

インフォメーション

海津市社会福祉協議会内市民活動ボランティアセンター
TEL 55-2300 FAX 55-1990 E-mail: info@kaizu-wel.jp